

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日	平成27年3月1日
主管学校名	高知大学教育学部附属特別支援学校
P T A 会長名	吉本 澄雄

実施概要	主管校	高知大学教育学部附属特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	卒業後の生活について見聞を広めよう
	実施日時	平成26年7月3日 / 平成26年10月30日
	実施場所	本校音楽室 / 荒川電工株式会社・NPO法人日高わのわ会・NPO法人ららら会
	実施目的	本校では中学部から現場実習を行い、実習先見学も行っている。高等部を卒業した後の生活についてどのような取り組みがされているか、多方面の方から話を聞いたり職場を訪問したりするなど、見聞を広める機会をもつ。
	実施内容	将来についてのビジョンを持てるよう、7月は就労移行支援事業所、本校卒業生保護者の話を聞き意見交換を行う。10月は実際に卒業生の働く様子を見学し現状を知る。
	実施方法	7月:講師を招いての講演と意見交換 10月:バスを借りて、県内の企業・福祉事業所を見学、研修を行う
参加人数	7月:教員3、保護者18、大学生2 計23名 / 10月:教員2、保護者18 計20名	

報告事項	内容	<p>(7月) 研修の内容は「現在の福祉・労働の状況と、就労に向けての取り組みから見る課題」について、高知市内の就労移行支援事業所の方に総合福祉法や就労の状況、就労には何が求められているか、などについて情報提供をしてもらいました。続いて「保護者の視点から見た、卒業後の生活に関する課題と在学時の取り組み」として、本校卒業生の2名の保護者を招き、保護者から見る卒業後の生活、在学時に必要な取り組みなどについて講話をしていただきました。その後、フリートークを行い、進路や福祉・労働情勢について意見交換を行いました。</p> <p>(10月) 7月の研修を受けて、卒業生が働いている企業と福祉事業所、グループホームの見学を行い、卒業生や事業所の方から卒業までにつけたい力、卒業後の生活に関する展望と課題などのお話をさせていただきました。</p>
	結果	7月と10月の2部構成で研修を行ったことで、実際の就労の様子や課題、将来の生活での課題などを研修することができました。合わせて、今学校と家庭がすべきことは何か、考える機会になりました。高等部の保護者はもとより、小学部の保護者も参加することで、早い段階から意識できる場となり、また学部をこえた保護者同士の情報交換の機会を得ることができました。また、学校だけでなく、地域の様々な支援・相談機関についても知ることができ、27年度からの福祉事業利用に向けた変更点などについても研修することができました。
	所感	卒業後の生活について、高等部はもとより小学部など早い段階から情報を知ること、将来を視野に入れた支援がより有効になるとあらためて感じました。7月・10月の研修でお世話になった事業所、卒業生保護者の方とのつながり・ネットワークも非常に大事であると感じています。P T Aの研修として、この事業は毎年行っていますが、来年度以降も様々な研修を計画し、将来について考えていける取り組みを継続したいと考えています。

添付書類



荒川電工さんでの研修



卒業生・田村君へのインタビュー



わのわ会さんでの見学



事業所経営に関する研修



らららさん・グループホームの見学と研修

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 参加感想

提出日	平成27年3月1日
学校名	高知大学教育学部附属特別支援学校
氏名	小・中・高保護者の無記名アンケートから

(7月)

サポートセンター上町さんからは、就労移行支援によるアセスメントの説明や、学校卒業までに家庭でやってほしい取り組みについて等を教えていただきました。

規則正しい生活リズム、本人が生活をする上で身の回りの事の体験を増やす……。できていそうでできていない（させていない）事が沢山ある事に気がつきました。例えば、自分の部屋の空気の入替えや布団干し……。そういえば家でさせた事がなかった（学校では合宿で経験させていただいてますが）と反省しています。

後半の卒業生の保護者の方から、就労先での課題等のお話がありました。ここでも、家庭でどんどんお手伝いをさせて、ほめるようにとのことでした。

今回の研修を受けて、家庭での経験も働く事への意識づけにつながっていく……。と感じました。

今回の研修の内容は、小学生になったばかりのうちの子にはまだ早いかな……。と思いながら参加させてもらいましたが、知らないことばかりで大変勉強になりました。

就労サポートセンターについての知識は全くなく、質問も何をどう聞いてよいかわかりませんでした。先生の方で「就労移行支援と就労継続支援（A型・B型）について説明してください。」と言ってもらったので、概略は理解できたような気がします。また、卒業生の保護者の方のお話も近い将来現実になることで、すごく考えさせられることがありました。人それぞれで経験していることも様々なので、今後いろいろな人の話を聞く機会がたくさんあれば良いなと思いました。

今回、幸いにも参加することができましたが、今後の講習会（学校内外をとわず）の情報を提供してもらえたらいいと思います。（しているかもしれませんが……）

個人ではなかなか情報が入ってきづらいと思います。

また、保護者間の連携も大切だなと改めて感じました。

サポートセンターの方、保護者の方々とも日常生活の身の回りのスキルの大切さを話され、とても細かなところまで分かりやすく説明してくださり、就労なんてまだまだ……。と思っても早くからのスキルの取り組み、継続が大事と痛感しました。貴重なお話が伺えて勉強になりました。座席の配置は研修の最初から円形でもよかったかなと思いました。

保護者として、耳の痛い話が多かったです。「日常生活・社会生活の準備。これが大切。」と支援者からのアドバイス。やってもできないではなく、できることから体験させていくとの事。保護者の気力と根気がなければ……。いつかできるだろう……。と思っても、経験させていないとできない。自然には身につかない。夏休みの中の課題が決まりました。できる範囲で……。いろいろな意味で、学校で取り組まれている授業内容との結びつきを感じながら研修することができました。

(10月)

荒川電工では、卒業生が実際に働いている姿を見学させていただきました。職場の雰囲気が温かく、また、本人もそれに答えるべく一生懸命努力している姿はとても素晴らしいと思いました。

人それぞれ能力に違いはあっても自分のできることをしっかりと行うことができるよう、私たちも支援していかななくてはと確認しました。

また、荒川電工が実習先となったきっかけ話をお聞きして人との繋がりや日頃から何事も真剣に取り組んでいくことの大切さも実感しました。

わのわ会では、村という小さいコミュニティならではの特徴はあるものの高知市も学ぶべきところが多数あると思いました。ら・ら・ら会では、働くことだけではなく、憲法にもかかげられている文化的に生活する面もサポートされており、豊かな日々を過ごしていると感じました。グループホームについては、建設時に地域の反対もあったとのことのお話も聞き、障がいに対する理解は本当にまだまだ浅いのだと痛感させられました。

荒川電工では、卒業生が頑張っている姿を見ることができました。また、上司の方から「なくてはならない社員です」と紹介されていたことがとても印象的でした。肉体的にも大変な仕事だと思いますが、笑顔で質問の受け答えをする彼がとても頼もしくかっこよく見えました。

わのわ会、ら・ら・ら会ともに代表の方のお話を聞き、どちらも利用者さんの気持ち、やる気を大切に細かいところまで対応

されていることが分かり、これからもこういう法人が増えてほしいと、地域と関わって少しでも明るい希望がもてるようにと思いを強くしました。もちろん親も努力しなければいけませんね。
今回は卒業後の生活の取り組みを主に見せていただきたくさん参考になることがありました。
グループホームなどは今後もいろいろなところを見学してみたいです。

初めて一日研修に参加させていただき、大変勉強になりました。事業所の内容も想像以上に良く、我が家の子どもも是非お世話になりたいと思ったぐらいです。ただ、やはり高知市内からは遠く自力で通えるが疑問です。

荒川電工では、太陽光発電のビデオを見せていただいた後、環境設備に取り組んでいる卒業生に会うことができました。質疑応答時に卒業生が「今、職場で頑張っているのは、学校にいる時に先生が居残り作業をさせてくれたおかげです。」と言っていたのですが、その精神に感動しました。仕事場の人から「T君は会社にはなくてはならない存在になっています。」というような事を言われていてとてもうらやましく思いました。
わのわ会、ら・ら・ら会の見学も参考になりました。

荒川電工を見学して、仕事内容はとてもハードだと感じましたが、卒業生が汗を流して頑張っている姿をみて本当にすごいなと思いました。

「仕事はともしんどいけれど、学校にいる間にいろいろな作業を先生からたくさんやらせてもらったことが、今仕事を頑張れることにつながっている。」と自分の言葉で答えていて感動しました。
わのわ会では、会の理念や取り組みがとても素敵だなと思いました。
ら・ら・ら会では、グループホームを見学して、職員さんからお話を聞けて参考になりました。

荒川電工では、卒業生の様子を見学させていただきました。広大な敷地で、夏の暑い日も雨の日も頑張っているようで感心しました。職員さんから「元気に毎日頑張れることが大事」と伺いましたが、その通りだなと思いました。
わのわ会では、会の理念等を伺いました。障害者に限らず、高齢者や子育て支援等、地域の人たちが助け合って生活している様子を知ることができました。それぞれの立場の人が住みやすい地域づくりのヒントになりました。
ら・ら・ら会では、訪問日は文化活動の日だったので残念ながら仕事をしている様子は見学できませんでしたが、幅広い活動をしているようでした。